

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 カテーテル固定用パッチ（JMDNコード: 70328000）

チューブ固定バリア

再使用禁止

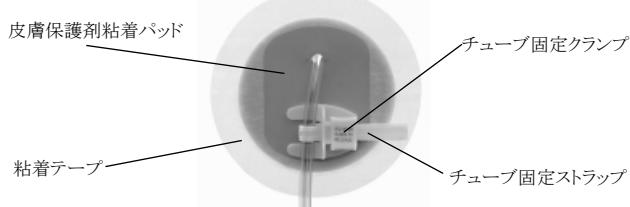
【禁忌・禁止】

・再使用禁止

【形状・構造等及び原理等】

本品はガンマ線滅菌済みである。

（各部の名称）



（構成部品の原材料）

チューブ固定クランプ : ポリプロピレン
チューブ固定ストラップ : ポリプロピレン
皮膚保護剤粘着パッド : ハイドロコロイド
粘着テープ : 不織布・アクリル接着剤
使用可能なチューブ等のサイズ 5~40 Fr

【使用目的又は効果】

チューブ、カテーテル等の固定

【使用方法等】

（装着の前に）

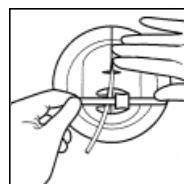
患者の皮膚を石鹼水で洗い、よくすすいで完全に乾かす。
粘着パッドの接着力が損なわれることがあるので、ローションやクリームは使用しないこと。

（装着方法）

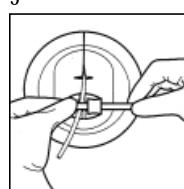
- 清潔操作により、粘着パッドのスリット（b）に直角にクロスカット（a）入れる（右図1）。固定するチューブが太くなる程、クロスカットは固定クランプから離れた位置に入れる。チューブ周囲へのより良い密着のため、必要に応じて粘着パッドを切り抜く。
- 粘着パッドの裏側から剥離紙をはがす（右図2）。このとき、粘着テープの剥離紙を剥がさないように注意する。
- チューブを粘着パッドのスリットを通してクロスカットにはめる（右図3）。本品を、固定クランプがチューブ挿入部よりも下になるように位置決めをして置く。

- そのまま粘着パッドを皮膚に対して優しく、しっかりと押さえ、しわが生じないように注意して貼付する（右図4）。次に、粘着パッド周囲の粘着テープから剥離紙を剥がし皮膚に貼り付ける。

- チューブが折れないように注意して固定ストラップの上に置く。固定ストラップをつまみ、チューブの上を越えて先端を固定クランプのスリットに通す（右図5）。

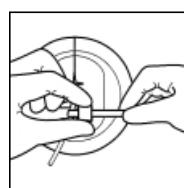


- 固定ストラップを引き続き送り込むとともに、先端を引っ張ることによって、固定ストラップがチューブにあたり、わずかに圧す程度に締める（右図6）。このとき、本品自体が動いてしまわないよう注意する。

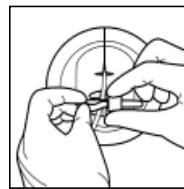


（取り外し）

- 固定クランプの本体部をつまみ、強く押えながら、固定ストラップを押し戻して緩める（右図7）。さらに固定ストラップを引き出し、固定クランプから完全に外す（右図8）。



- まずクロスカットの部分から始めて、粘着パッドと粘着テープをチューブ周囲と皮膚から優しく剥がす。チューブを片方の手で保持しながら、一方の手で本品を取り外す。



【使用上の注意】

- 装着時に、固定ストラップを強く引っ張りすぎると、チューブをつぶし閉塞することがあるので注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

（保管方法）

水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿、凍結を避けて保管すること。

（使用期限）

使用期限は個包装に記載[自己認証(当社データ)による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 : 株式会社ホリスター

製造業者 : ホリスター社(米国)

Hollister Incorporated (USA)

